

新猿払村国民健康保険病院改革プランの点検・評価

新猿払村国民健康保険病院改革プランの進捗状況を下記のとおり自己評価し、村管理職で構成する「猿払村病院運営検討委員会」において点検・評価を受けたので、その結果を公表します。

○当院における自己評価

自己評価 A：目標以上 B：おおむね達成 C：未達成
(自己評価欄右側は前年評価)

視点1「経営効率化」～数値目標の設定による計画的管理

具体的取組みの状況

数値による目標

項目	目標	H30 達成状況	自己評価	
経常収支比率	100%以上	100.0%	B	B
医業収支比率	54%以上	42.4%	C	C
看護基準	15対1を維持	夜勤時間超過 (※病棟4名不足)	C	C
許可病床数	通年空き病床解消	病床利用率 30.1%	C	C
後発医薬品使用率	R2までに50%以上	H30末63.5%	—	—
一般会計繰入金	R2の2億5千万円	282,000,000円	—	—

その他の目標

①収益増、医療の充実と向上

項目と目標	H30 達成状況	自己評価	
平均在院日数の適正管理	H30年間平均 33日	B	B
企業健診受入れ拡充(H28:21社)	26社	B	B

②経費削減

項目と目標	H30 達成状況	自己評価	
委託業務検証	予算編成及び執行時精査	B	B
経費削減(消耗品等)の継続	予算編成及び執行時精査	B	B
薬品費削減 (H28:薬品費/医業収益33.1%)	37.8%	B	B

③人材育成

項目と目標	H30 達成状況	自己評価	
計画的な職員研修の実施	院内研修の機会確保	B	B
人事評価制度継続と有効活用	村制度による実施	B	B
就学資金制度のPRと有効活用	ホームページ周知と貸付実行 (※H30貸付:医師1名)	B	B

④地域包括ケアシステムの構築

項目と目標	H30達成状況	自己評価	
包括支援センターとの密接な連携	ケア会議への参加と情報共有 〔※H30 ケア会議：12回 副院長・看護師長・訪看主任〕	B	B

⑤村民への情報提供・意見収集と活用

項目と目標	H30達成状況	自己評価	
広報誌の活用	提供情報の内容により活用	B	B
ホームページの充実	随時更新し最新内容掲載	A	A
アンケートの実施	令和2年度に実施予定 (※H28 要望により廊下照明設置)	—	—
意見箱の有効活用	設置継続しているが実績なし	B	B

⑥その他

項目と目標	H30達成状況	自己評価	
浅茅野診療所診療日程変更	隔週を継続	B	B

(※H28において地域住民の理解を得てH29当初から実施)

視点2「再編・ネットワーク化」～二次医療圏内に限らず各機関と医療連携
具体的取組みの状況

項目と目標	H30達成状況	自己評価	
宗谷保健医療福祉圏域連携推進 会議への所属と連携継続	情報共有と意見交換	B	B
ポラリスネットワーク参加継続	参加継続と医療連携 (H30実績：閲覧1件)	B	B
旭川医大との連携継続	出張医受入れと相互協力 〔※H30出張医：延95日 H30訪問：2回〕	A	A

視点3「経営形態の見直し」～地方公営企業法の一部適用を継続
具体的取組みの状況

項目と目標	H30達成状況	自己評価	
現形態による医療提供の継続	現形態を維持	B	B

視点4「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」
～“村の病院”として一次医療機関の役割遂行

具体的取組みの状況

項目と目標	H30達成状況	自己評価	
訪問看護事業の推進	専任2名体制 〔※H30実績：居宅管理指導25件 訪問看護225件〕	B	B
病床数の削減検討	未実施	C	C

○猿払村病院運営検討委員会による点検・評価（令和元年10月7日開催）

- ・進捗状況の評価に関しては、病院自己評価を本委員会の評価とする。
- ・今後の新病院改革プランの実行に次の意見を付す。
 - 1). 医療技術者等の確保と村民から信頼される病院となるよう努力すること
 - 2). 福祉、介護分野との連携強化に努めるとともに収益確保につなげること